

地域づくり×再エネ

Ecommodation 百のやど (川崎町)



施設外観

Ecommodation 百のやどは、木質バイオマスや太陽光・太陽熱を活用して、「食とエネルギーを地産地消する暮らし」を来訪者に体感していただき、発信していくことを大きな目的に宿泊・体験サービスを提供している施設です。

百のやどの構造材はすべて地元産で、建設地（山林）内で伐採から乾燥・製材・建築、すべての工程を行うことで、運搬や乾燥に係る余剰なCO₂の排出をなくし、建築コストの削減や山主への資金還元など、地域の経済循環につながるプロジェクトとして建設しました。伝統工法により建てているほか、壁は土壁で作られていますが、それにも川崎町内で採れた粘土と稲わらを使用しており、調湿効果も発揮しています。

給湯等の熱源には、薪ボイラーと太陽熱温水器を使用し、電源には、薪棚の屋根に設置した太陽光パネルを用いています。また、各部屋の冷暖房には、冷水水放射パネルを設置しており、夏は井戸水を流すことで涼しく、冬は薪ボイラーなどで温めた温水を流すことで暖かく過ごすことができます。

また、株式会社 百では、同じ川崎町内で「山景の宿 流辿」などの宿泊施設を営む株式会社坊源と協力し、温泉の排湯熱と薪ボイラーによる熱を活用したカカオ栽培の実証事業を行ったり、家庭から出る生ごみによるメタン発酵設備を設置する調査など、地域の資源を活用した様々な取り組みを行っています。カカオは順調に生育しており、うまくいけば2年後には実が収穫できるかもしれません。



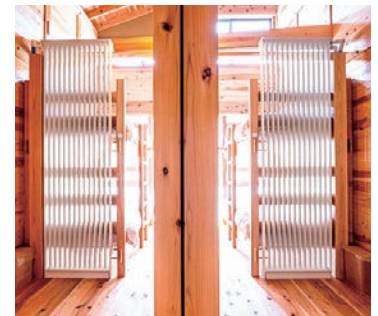
カカオ栽培のようす



薪棚と太陽光パネル



薪クッキングボイラー
(機能：給湯、調理、暖房)



客室に設置された冷水水放射パネル

Keyman's
VOICE

株式会社 百

拙 昌汰 さん、中安 祐太 さん、宮川 卓士 さん、倉田 慎 さん

株式会社 百は、生活に最低限必要な「食料」と「エネルギー」を“ベーシックインフラ”として、地域自給率100%を目指している企業です。百のやどは、地域の方々や事業者様をはじめ、クラウドファンディングにご協力いただいたみなさまなど、沢山の方にご支援いただいで完成しました。「百ふぁみりい」一同で、みなさんの来訪を楽しみにお待ちしております！



所在地	柴田郡川崎町前川六方山 18-51
アクセス	山形自動車道 宮城川崎 ICから約15分
エネ種	木質バイオマス熱利用、太陽熱利用、太陽光発電 1.52kW
活用した補助事業	令和3年度エコタウン形成事業化支援事業費補助金（宮城県）
運営主体	株式会社 百
連絡先	E-mail: contact@momo100sho.com
見学の可否	可